

(代表質問)

質問日	令和4年6月8日(水)			質問方式	分割方式		
質問順位	4	会派名	日本共産党浜松市議団	議席番号	3	氏名	落合 勝二
表題	質問内容						答弁者の職名
1 ロシアによるウクライナへの侵略について (1) ウクライナへの人道支援について (2) 浜松市平和都市宣言による平和行政について	<p>本市議会は先の議会で、「ロシア連邦のウクライナへの軍事侵攻を非難する決議」を全会一致で採択したところであるが、侵略行為の長期化により、ウクライナ国民の被害が大きく広がっている。</p> <p>そこで以下2点について伺う。</p> <p>(1) 多くの国内外への避難者が発生している状況の中で、本市として避難民受入れや生活支援等に取り組んでいる状況と、今後の見通し、及び復興を見据えた将来的なウクライナ支援についての考えを伺う。</p> <p>(2) 本市は、平成23年7月1日に「戦争やテロリズム、核兵器等による脅威をなくし、地球上のすべての人々が平和に暮らしていける世界を築いていかなければなりません」とする“浜松市平和都市宣言”をしている。今ほど、この立場に立った平和行政が求められているときはないと考えるが、市長の認識はどうか伺う。</p>						鈴木市長
2 行政区再編について	<p>このまま、来年2月議会での「区設置条例の改正」をしていくことは、著しく民意に反し市政にとって大きな禍根を残すこととなる。</p> <p>そこで、パブコメで出された住民の声をどのように受け止めているか伺う。</p>						鈴木市長
3 交通事故の削減計画と対策について (1) 第11次交通安全対策について (2) 交通事故ワースト1脱出作戦DX化事業について (3) 公共交通の利用促進について	<p>令和2年、本市における年間人身交通事故件数は、人口10万人当たりで最も少ない新潟市の4.22倍、ワースト2の静岡市の1.55倍、中位の熊本市の3.57倍であり大きな違いがある。</p> <p>そこで、人身事故の大幅削減のための計画と対策に関し以下3点について伺う。</p> <p>(1) 本市の人身交通事故が新潟市よりも大幅に多いが、その要因の一つとして、交差点の右折誘導線の設置の数や路肩幅員の広さ、歩道設置率の違いなどがあると感じる。浜松市第11次交通安全計画では“おもいやりとゆとり”が実現できる対策に取り組むとし、「交通環境に係る安全対策」を挙げているが、具体的な対策を伺う。</p> <p>(2) 交通事故ワースト1脱出作戦DX化事業としてAIを活用し危険箇所を効率的に把握し、対策を講じていく基礎データとしていくが、従前から行っていたビッグデータを活用した取組との違い、また、個人情報の取扱いについて伺う。</p> <p>(3) 公共交通機関の維持が、高齢者の安全な移動を確保し、高齢ドライバーの自動車利用の抑制につながると考えている。そこで公共交通の利用促進を図るための施策</p>						伏木土木部長 ” 井熊都市整備部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>として、公共交通割引助成を早急に行う必要があると考えるがどうか伺う。</p>	
<p>4 懸念される浜名湖、天竜川の水質の変化と影響について</p>	<p>(1) 浜名湖沿岸部にある太陽光発電所での除草剤使用の実態と魚貝類への影響について伺う。 また、除草剤の使用規制の必要があると考えるがどうか伺う。</p> <p>(2) 天竜川流域では、三遠南信自動車道、リニア中央新幹線工事などのビッグプロジェクトが進んでいる。この工事により有害な重金属類が多く発生するため漏出を防止する必要がある。 そこで以下2点について伺う。 ア 大千瀬川支流の相川源流部にある吉沢処分場は、ほぼ計画量に達していると聞いているが、完了後の管理計画はどのようになるか伺う。 イ 天竜川では近年アユが激減しているが、汚濁などの水質の悪化も要因の一つとして考えられる。 本市水道水の大部分は天竜川に依拠しているが、水道原水の水質検査において変化はないか伺う。また、今後の水質検査・監視体制を強める必要があると考えるがどうか伺う。</p>	<p>村上カーボンニュートラル推進事業本部長</p> <p>伏木土木部長</p> <p>朝月水道事業及び下水道事業管理者</p>
<p>5 江之島ビーチコート整備事業計画の見直しについて</p>	<p>この整備事業用地周辺は、廃掃法施行以前の昭和40年代半ばまでの期間に河川改修による廃川敷部分に廃棄物を埋め立てた場所である。 そこで以下2点について伺う。</p> <p>(1) 基礎ボーリング調査で地下に廃棄物が発見されたが、予備調査として実施した地歴調査の結果について伺う。 また、重金属、ダイオキシン、アスベストなどの有害物質が出てくる可能性があり、調査・安全処理に相当期間と経費を要し大幅な事業期間延長になると考えるが、今後の予定を伺う。</p> <p>(2) 廃棄物を埋め立てた用地では、どのような有害物質があると考えられるか伺う。 また、それらの安全処理はどのような方法が考えられるか伺う。</p>	<p>嶋野文化振興担当部長</p> <p>藤田環境部長</p>
<p>6 認知症予防について</p>	<p>はままつ友愛の高齢者プランでは「地域で共に支え合い安心していきいきと暮らすことのできるまち 浜松」を掲げ、重点施策の一つとして「認知症施策の総合的推進」を取り上げている。 そこで以下3点について伺う。</p> <p>(1) 2015年に厚労省で策定した「新オレンジプラン」で、初めて認知症の関係因子として難聴が加えられたが、認知症と難聴の関係性をどのように捉えているか伺う。</p>	<p>山下健康福祉部長</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>(2) 認知症を予防し、生活の質を向上させ、健康寿命を延ばすためにも、多くの高齢者を抱える国民健康保険において、特定健康診査の項目に聴力検査の項目を加える考えはないか伺う。</p> <p>(3) 高齢者が安心して生活できるよう、補聴器の購入助成制度を創設する考えはないか伺う。</p>	
7 学校給食について	<p>コロナ禍により様々な原材料価格や輸送コストが高騰し、さらにロシアによるウクライナ侵略で小麦や燃料価格が上昇する中で、全国で学校給食にも大きな影響が出ている。本市における学校給食への影響はどうか。また、給食費について、これ以上の保護者負担は避けるべきと考えるがどうか伺う。</p>	田中学校教育部長
8 熱海土石流災害の教訓を本市でどう生かすかについて	<p>昨年7月に起こった土石流は多くの人命が失われる大災害となった。県の検証委員会は、発生原因として行政側に4点の失敗があったと結論づけ、今、様々な改革を進めている。失敗の要因の一つとして、「届出や申請の審査、指導の不十分」を挙げ、その根底に「責任のあいまいさや技術的見識の問題」を指摘している。</p> <p>本市においても建設・開発関係において事故やトラブルが発生しているところであり、熱海土石流災害の教訓を生かした改善が必要と思われるので、以下4点について伺う。</p> <p>(1) 建設事業において、計画、調査測量、設計などについて技術者不足から大部分をコンサルに委託している結果、現場が分からなかったり、設計内容の理解不足などが生じたりしているが、技術力の低下となる問題をどのように改善していくのか伺う。</p> <p>(2) 土木分野では基礎的な専門理論の習得の必要がある。特に気象・気候変動、環境、地震・耐震、地質・地盤、水理・水文などの研修が必要と考えるが認識を伺う。</p> <p>(3) 大規模工事や困難工事の計画・設計や施工について、チェックや協議をする仕組みを設ける必要があると考えるがどうか伺う。</p> <p>(4) 技術士などの高度な知識を生かせるような体制が必要であると考えがどうか伺う。</p>	石切山財務部長